

お知らせ

Notice

紀の川市文化祭の  
市民健康講座に参加協力



10月27日に開催された紀の川市貴志川支部文化祭の市民健康講座に参加し、講座とロビーでの体験コーナーの運営に協力いたしました。  
最初に和歌山県立医科大学 整形外科の講師で、当院の診療にも携わっておられる谷口亘医師が、「痛みについて知っておきたい3つのこと」について、続いて当院理学療法士の美濃真豊が、「痛みを軽減させるには～姿勢について考える～」について講演させていただきました。  
『痛み』に関しては、誰もが関心あるテーマということもあり、参加者は熱心に講師の話に聞き入り、体操は全員が実践されていました。

お知らせ

Notice

西山大介医師による  
「股関節の健康講座」開催



11月14日、和歌山県立医科大学の整形外科の医師で、当院の外来診療にも携わっておられる西山大介医師による「股関節の健康講座」を当院の大会議室にて開催しました。  
整形外科の歴史や股関節の痛みに貧乏ゆすり効果的など、面白い視点からお話いただき、参加者の方々も興味深く聞き入っておられました。

お知らせ

Notice

# 和歌山県ナース章 受賞



当院、看護部統括の大久保まさ子が和歌山県ナース章を受賞しました。  
ナース章は、1970年(昭和45年)に和歌山県が制定。  
和歌山県において看護職員として永年勤続し、看護の質向上・後輩の育成等に顕著な実績を上げた方々に功績をたたえることを目的とし、知事が授章を行います。

アクセス

- 公共交通機関でお越しになられる方
- 紀の川コミュニティバス「丸栢北」下車すぐ
  - JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで5分(徒歩約20分)
  - 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栢北」下車すぐ

社会医療法人 三車会  
貴志川リハビリテーション病院  
〒640-0401 和歌山県紀の川市 貴志川町丸栢 1423-3  
TEL 0736-64-0061 / FAX 0736-64-0063  
[HP] <http://www.mikurumakai.or.jp>

フェイスブック

Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。  
お気軽にフォロー&いいね よろしくをお願いします。

貴志川リハビリテーション病院  
赤ひげクリニック  
たま整形外科  
Acti-va

# 2020 冬号 Vol.23 みくるま通信



## 年頭のご挨拶

理事長・病院長  
殿尾 守弘



明けましておめでとうございます  
昨年は法人設立20周年を迎えさせていただき誠にありがとうございました。  
今、少子超高齢化に伴う社会保障費の増加・増大は「鼠が塩を引く」と軽視できない大問題です。厚労省によりその解決策として地域の医師偏在・過剰の是正、それに関わる民間病院を含めた国公立病院の統合・再編がクローズアップされています。「大山鳴動して鼠一匹」にならないように危惧する。今までの国の施策を考えると「鼠壁を忘れる、壁鼠を忘れず」のごとく一喜一憂した過去を思い出します。

医師が多いか少ないかをみるために地域ごとの医療ニーズや人口構成、医師の性年齢構成らを踏まえた医師偏在指標を国が提示し、和歌山県は多い順に全国第10位で医師多数都道府県とみなされています。  
しかし、この那賀医療圏は全国335医療圏のうち順位206位で医師少数地域に近いと評価することができます。  
とりわけ、医師少数スポットとして定められるところに鞆瀨診療所、細野へき地診療所そして野田原へき地診療所があり、前二診療所の管理委託を社会医療法人の責任、使命としてわが法人が承っています。  
最後に、今年もミッキーマウスのように皆様に可愛がっていただける福祉・医療組織づくりを職員とともに精励致します。  
どうぞこれからも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 回復期リハビリテーション病棟について

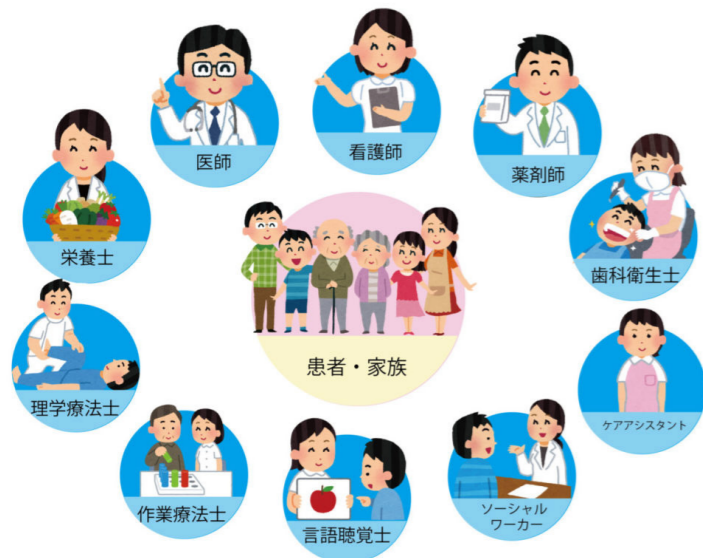
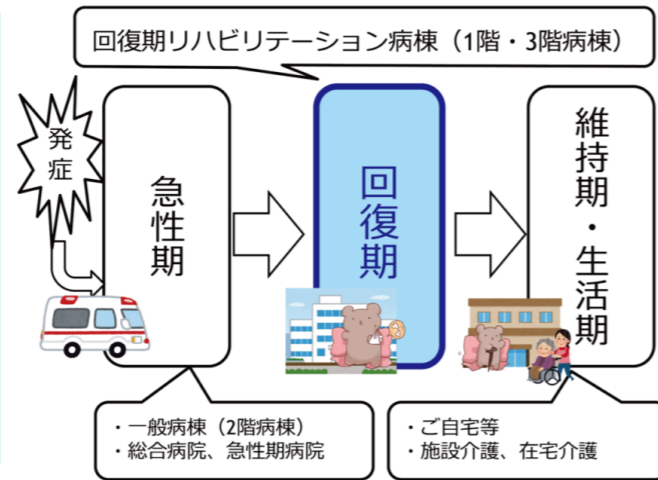
入院期間中は病棟にて治療にあたりますが、病棟には患者様の状態に合わせ様々な種類があります。今回はその中で当院の1階と3階にあるリハビリテーションを集中的に行う事を目的とした「回復期リハビリテーション病棟」をご紹介します。

回復期リハビリテーション病棟は入院できる疾患が限られております。また入院期間も疾患や発症時期によって異なり、入院日数としては疾患別に最大60日～180日となっております。



## 回復期リハビリテーション病棟とは

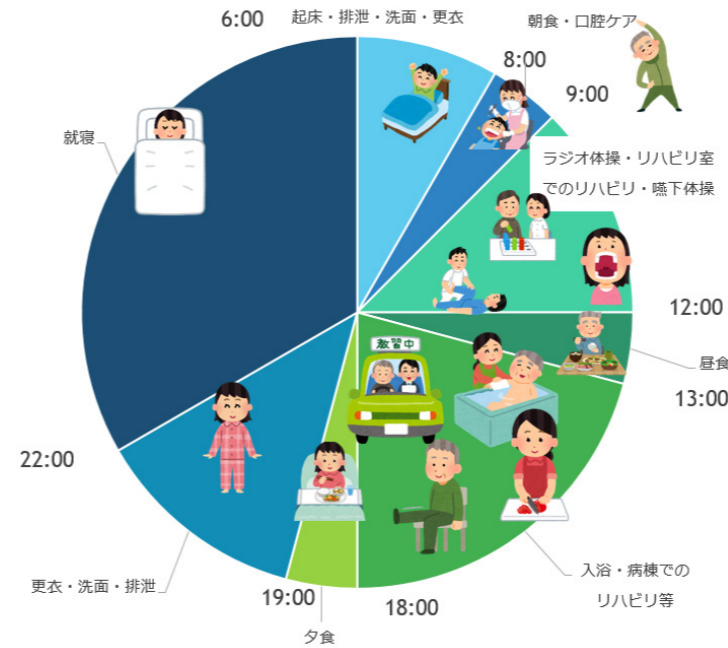
回復期リハビリテーション病棟は発症後、急性期病院等での治療を終え、病状が安定してきた時期に集中的なリハビリテーションを様々な専門職が関与し行う事で低下した能力を再び獲得し、自宅等への早期復帰を目指す病棟です。



回復期リハビリテーション病棟では、患者様が一日も早く日常生活を送ることができるよう、各分野の専門家が一体となって治療に取り組みます。

具体的には医師、看護師、薬剤師、理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST)、管理栄養士、歯科衛生士、ケアアシスタント、ソーシャルワーカーといった、各職種がチームとなり、患者様の身体機能の回復や、日常動作の改善・向上を目指します。

## 入院中の1日のスケジュール



### 〈主な特徴〉

- ・入院生活にメリハリをつけるため毎朝更衣や、食堂に移動しての食事をを行います。
- ・身体機能を回復させるためリハビリ室でのリハビリテーションは一日最大3時間行います。
- ・病棟でもラジオ体操、嚥下体操、認知症サロン等のリハビリテーションを行います。

## 脳疾患後自動車運転再開支援システム

脳疾患により自動車運転が困難となった患者様に対して、認知機能検査に加え自動車運転に特化した評価方法であるドライビングシミュレーターや、必要に応じて教習所での実車評価を行っています。



## 退院前家屋調査

退院後に患者様が安全に不安なく生活できるように、入院中にPT・OTがケアマネージャーや住宅改修業者などとともに自宅へ訪問し、家屋調査を実施しています。家屋内外の段差・配置などの把握をし、実際に動作確認もして住宅改修などの提案をします。



## 退院後のリハビリテーション・機能訓練

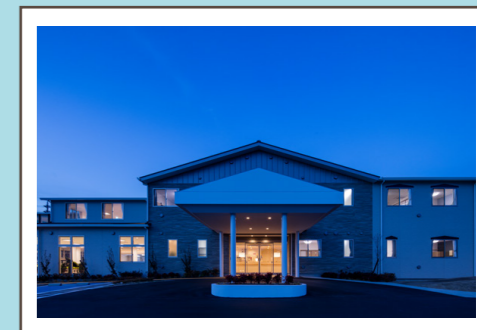
退院後必要に応じてリハビリテーション、機能訓練をサポートいたします。



訪問リハビリテーション



通所リハビリテーション  
通所介護 (デイサービス)



短期入所生活介護 (ショートステイ)